

15. オビレカミキリ *Euseboides matsudai matsudai*  
Gressitt, 1938  
1♂, 1♀, 古見林道, 7-8. X. 2011.
16. シロアラゲカミキリ *Penthides flavus multipubens*  
Makihara, 1978  
3♂ (多数目撃), 古見林道, 7-8. X. 2011

## 引用文献

日下部良康, 2008. ピロウを加害していたカミキリムシ2種.

月刊むし, (453): 58-59.  
横原 寛, 1989. 沖縄島・10月のカミキリ. 月刊むし, (215): 21.  
土田 孝・大木 裕・内藤準哉・日下部良康・鎌苅哲二・新里達也, 2011. 38年ぶりに再発見されたノコギリヒメコバネカミキリ. さやばねニューシリーズ, (2): 33-39.  
土屋利行, 2009. 沖縄県西表島で11月に採集したカミキリムシ. 月刊むし, (460): 43.

(2011年11月12日受領, 2011年11月20日受理)

### 【短報】東京都におけるセマルタマキノコムシ属2種の採集例

セマルタマキノコムシ属 *Cyrtoplastus* は, 日本から3種が命名記載されている. 琉球に産する1種をのぞき, 筆者の手もとに東京都内で採集した本属2種があるので, 以下のように記録しておく. 標本は筆者が保管している.

#### 1. セマルタマキノコムシ *Cyrtoplastus seriepunctatus* (Brisout de Barneville, 1867)

2 exs., 東京都あきる野市小川 (多摩川河川敷), 24. III. 2008.

池周辺の草地の落葉層をシフティングすることで得た. 各地に比較的ふつうにみられる種で, 今回の採集例のように, 平野部の, 河川敷草地の落葉層からもよく得られる. 東京都では, 大田区 (1997) や皇居 (野村ら, 2000, 2005, 2006) からの記録がある.

#### 2. カイセマルタマキノコムシ *Cyrtoplastus hiranoi* Hoshina, 1996

2 exs., 東京都西多摩郡奥多摩町倉沢谷, 24. II. 2007.

東京都初記録. 冬季に溪流沿いの広葉樹林内で,

落葉落枝層をシフティングすることで得た. タイプ産地の山梨県 (Hoshina, 1996) のほかは, これまで神奈川県からの記録しかなく, 稀種のようなのである.

近似のセマルタマキノコムシに比べてやや小型で, 上翅の点刻列数が多く, 点刻列間の小点刻がより疎であることなどにより, 区別はむずかしくはない.

## 引用文献

野村周平・平野幸彦・斉藤明子・上野俊一・渡辺泰明, 2000. 皇居の甲虫相. 国立科学博物館専報, 36: 185-255.  
野村周平・平野幸彦, 2005. 赤坂御用地ならびに常盤松御用邸の甲虫相. 国立科学博物館専報, 39: 183-223.  
野村周平・上條哲也・市野澤慎, 2006. 皇居における空中浮遊性甲虫の多様性と動態 — 2004年度地上FITによる調査. 国立科学博物館専報, 43: 187-240.  
大田区, 1997. 大田区の昆虫. 大田区自然環境保全基礎調査報告書, 136 pp.  
Hoshina, H. 1996. A taxonomic study on the genus *Cyrtoplastus* (Coleoptera, Leiodidae) of Japan. Japanese Journal of systematic Entomology, 2(2): 201-205.

(亀澤 洋 350-0825 川越市月吉町32-17)



図1. セマルタマキノコムシ (あきる野市産); 図2. カイセマルタマキノコムシ (奥多摩産).